

知の森への誘い

—Well-Being創造を目指して—

3部局合同研究フォーラム2024 プログラム

13:00～13:15 オープニングイベント

13:20～15:20 ブース型セッション

(セッションA～D)

—休憩—

15:40～16:50 分野融合セッション

16:50～17:00 まとめ

17:15～

交流・懇親会

(ののほなハウス)

■セッションA (13:20～15:20)

「Well-Being創造支援の最前線」

司会: 早見直美 (生科/食栄養学/准教授)

コメンテーター: 松本佳也 (生科/食栄養学/准教授)

▶ 西山菜々子 (リハ/作業療法学/助教)

「緩和ケア病棟入院中の終末期がん患者に対するリハビリテーションの有効性検証ならびに普及実装」

▶ 玄 安季 (リハ/理学療法学/D3)

「森之宮地域に住まう社会的フレイルな高齢者における、運動教室終了後の社会的交流の仕組みづくり」

▶ 出口美輪子 (生科/食栄養学/特任助教)

「障がいのある人がスポーツを楽しむために—栄養サポートの重要性と課題—」

▶ 小林右京 (文/心理学/M2)

「未来志向メッセージが日本人若年層の献血意図に及ぼす影響」

■セッションB (13:20～15:20)

「人間の感覚と指向性を科学する」

司会: 緒方康介 (生科/臨床心理学/教授)

コメンテーター: 川邊光一 (文/心理学/教授)

▶ 上野慶太 (リハ/作業療法学/D3)

「リハビリテーションにおける脳波バイオマーカーの応用—様々なウェアラブル脳波計を用いた活用事例—」

▶ 河 ゆき (生科/総合福祉科学/M1)

「ウノ発見は音楽に方向づけられるのか—聴覚的背景情報が隠匿情報検査におけるNIRS反応に及ぼす影響—」

▶ 佐々木裕太郎 (生科/食栄養学/D2)

「食品成分によるガン予防効果とその作用メカニズム」

▶ 永延佳那子 (文/心理学/M2)

「先んじて協力を示すことを促すための心理・社会的要因の分析」

■セッションC (13:20～15:20)

「地域と空間の社会的探究」

司会: 中岡和代 (リハ/作業療法学/講師)

コメンテーター: 横井賀津志 (リハ/作業療法学/教授)

▶ 辻中 椋 (リハ/理学療法学/D1)

「都市部の交通網変化によるWalkabilityの改善がフレイルな独居高齢者の生活、行動に与える影響」

▶ 金 隼泳 (生科/居住環境学/D1)

「戦後日本における最初期の住宅地計画とその空間的特徴に関する研究」

▶ 天谷宙詩 (生科/総合福祉科学/D3)

「貧困の地域差に関する研究—大阪市を例に—」

▶ 本多忠素 (文/地理学/研究生) 「死者の空間の公共性と宗教性—都市における納骨堂の建設問題—」

■セッションD (13:20～15:20)

「メディアと人文学の方法」

司会: 高橋未来 (文/中国語中国文学/教授)

コメンテーター: 佐金 武 (文/哲学/准教授)

▶ 山上紀子 (文/フランス語圏言語文化学/UCRC研究員)

「オディロン・ルドン研究の現在」

▶ 高野保男 (文/哲学/UCRC研究員)

「メタ哲学の非哲学的論点」

▶ 謝 悦 (文/東洋史学/UCRC研究員)

「宋代「巫風」再考—『夷堅志』から見る巫医関係—」

▶ 管 新寧 (文/中国語中国文学/D2)

「映画と博覧会『満洲国』の文化展示と宣伝—『皆大歡喜』を事例に—」

■分野融合セッション (15:40～16:50) 「森之宮でのWell-Being創造モデル構築を目指して」

司会: 加登 遼 (生科/居住環境学/講師)

▶ 橋本博文 (文/心理学/准教授)

「ヘルプマーク周知・理解を促す社会的な仕掛け構築のための心理学とデザインストラテジーの応用」

▶ 上田哲也 (リハ/理学療法学/講師)

「森之宮URでのモデルルーム展開と高齢者のWell-Being」

▶ 荒井健太 (日本システム技術株式会社)

「森之宮新キャンパスと産学連携: 生活科学研究科と日本システム技術株式会社との部局間連携と今後の展開」

「森之宮移転3部局合同研究フォーラム2024」企画運営委員会